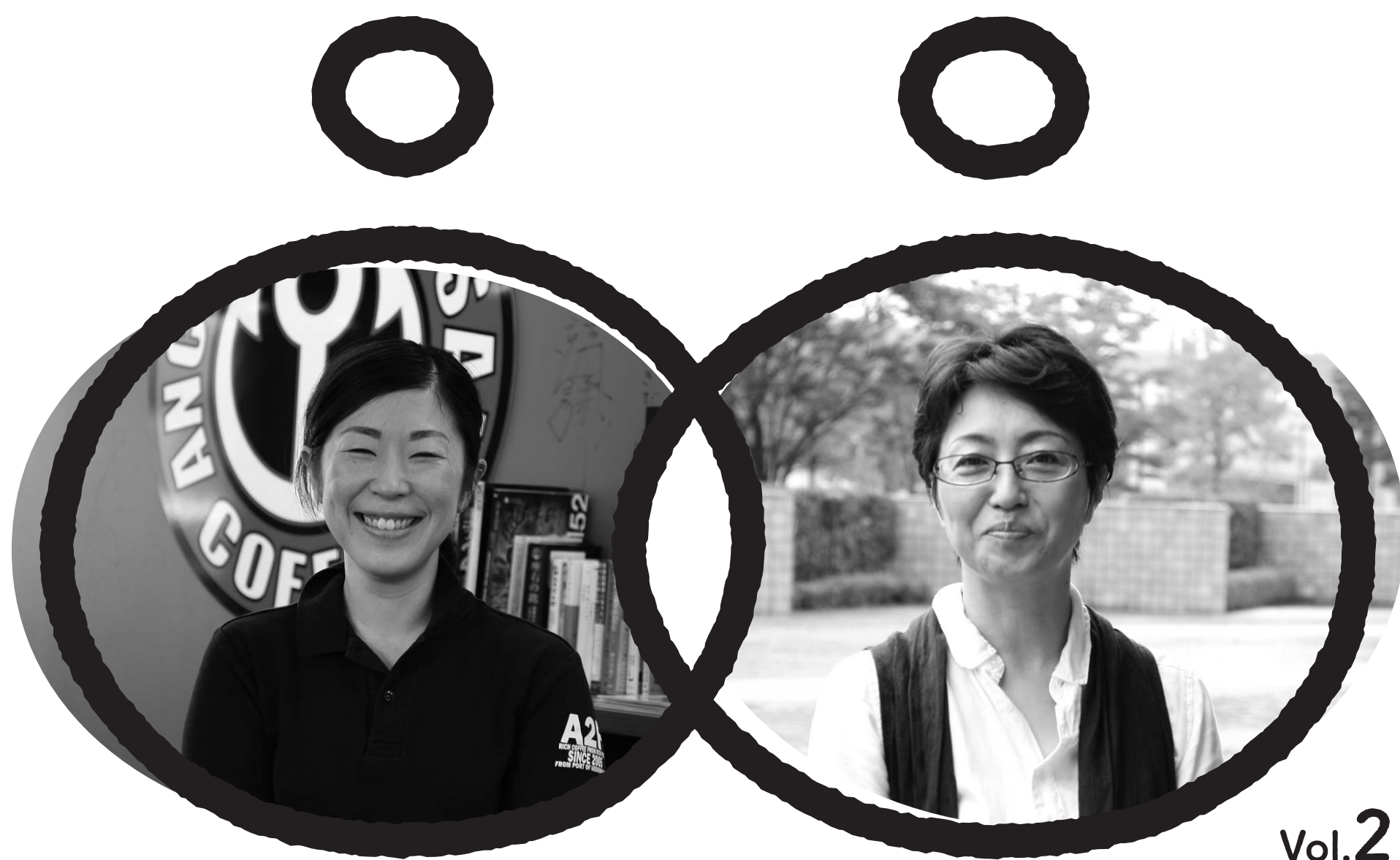


# 応援の気持ち お金に託す。

働く場所がある嬉しさ  
感謝の心を地域に返したい

再建を長く見守る支援  
無力感がいつしか消えた



Vol.2

アンカーコーヒー&パル田中前店スタッフ

## 小野寺有希さん (30)

震災当日まで気仙沼市のアンカーコーヒー本店の店長でした。わたしは避難ビルから、津波が店を襲う様子を茫然と眺めていました。恐怖と不安でいっぱいだったことを思い出します。2店舗が被災した中で、会社はすぐに事業と雇用の継続を決めました。わたしは一関市の店に通い、ほかのスタッフとワークシェアして何とか仕事を続けることができました。幸いなことにファンドの応援を受け、再建につながり、資金は早々に集まりました。一部を使い、焙煎機を新たに購入できました。気仙沼には昨年末に仮設店舗がオープン。地元にもまた働ける場所ができて本当に良かったです。

全国から寄せられた出資金は、金額以上の力となって被災地の企業と従業員を支えています。

・  
・  
・  
・  
・

気仙沼市のアンカーコーヒーに出資した仙台市の会社員

## 佐藤香世子さん (50)

震災後、出資という形で被災企業を支援するファンドが複数生まれました。ある女性はその一つを利用し、気仙沼市の「アンカーコーヒー」というコーヒーチェーンに出資しました。再建までの長い道のりを、見守るように応援しています。

・  
・  
・  
・  
・

2年前、大崎市にあるアンカーコーヒーの姉妹店に行ったことがあります。電話で場所を尋ねたときのスタッフの親切な対応、「お待ちしていました」の言葉。商品説明もニコニコ笑顔です。マニキュアル通りとは違う暖かな接客でした。また訪ねたいと思っていたうちに震災が起きました。当時は沿岸の被災地に行けず、何の役にも立てない自分に腹が立ちました。そんな

## 今できること プロジェクト

「今できることプロジェクト」とは、読者の皆さん、企業・団体の皆さん、河北新報社と一緒に、これからの被災地・被災者支援のあり方を考え、具体的なアクションへとつなげていくプロジェクトです。紙面では毎回、実際に行われている支援の事例を、いくつかの支援スタイルに分けて取り上げ、支援する立場の人と支援を受ける立場の人、双方の生の声をご紹介します。今回のテーマは「出資型支援」。被災企業を支援するファンドに小口でも出資することで、被災企業再建に役立ててもらう仕組みです。

### 9月は特集紙面毎週掲載

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設 HPにお寄せください。

[www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html](http://www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html)

河北 今できること

検索

f facebookページあります。

時に「セキュリティ被災地応援ファンド」を知りました。1万円から参加できるし、出したお金がどんなふうに使われているのか見える。脳裏に、アンカーコーヒーの爽やかで思いやりのある接客が浮かびました。「この仕組みなら自分にも何かできる」。無力感は消えていきました。同社の理念は「コーヒーのあるライフスタイルと喜びを提供する」ことです。クルーにも徹底して共有され

ています。地方の小さな企業でも優れた人材を育て、お客様に感動を与えることができるのですね。素晴らしい企業を応援できて嬉しいかぎりです。震災から1年半が経っても、何もできないと悩んでいる人は多いでしょう。けれど、応援ファンドのように離れていても、時間がなくてもできる支援があります。多くの人に知ってほしいと心から思っています。

全国の出資者のみなさまからは応援の手紙や品物が届きました。遠方から店を訪ねてくださる方もいます。見知らずの方が応援ファンドを通じて当社を知り、見守ってください。みなさまとのつながりを保ち、長くお付き合いできることが本当に嬉しく、感謝の言葉では表せません。

復興までの道のりは始まったばかり。会社は市内に本店の新設場所を探している。復元までの道のりは始まったばかり。会社は市内に本店の新設場所を探している。

### ◎セキュリティ被災地応援ファンド

東京の「ミュージックセキュリティーズ」が運営する被災企業支援ファンド。出したお金の半分が出資金、半分が寄付金として充てられます。1万円の小口から利用できる(手数料500円は別)ことや出資先を自分で選べるなどが特徴。企業の再建が上手いかなければ出資金が戻らないリスクもあります。9月現在、出資者の総数は2万3000人、総額は約8億円に上りました。これまでアンカーコーヒーを含む20件のファンドが資金を調達して募集を終えましたが、17件が募集を続けています。



### ●私たちも、被災地支援のため「今できること」とともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/いのちの電話 震災ダイヤル/岩手日日新聞社/岩松旅館/NTTデータ東北/鹿島建設 東北支店/麒麟ビールマーケティング 東北統括本部/ケースデンキ/サッポロビール 東北本部/サントリーピア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JT 仙台支店/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友林業 仙台支店/青南商事/セキスイハイム東北/石油連盟/仙台コカ・コーラボトリング/仙都タクシー/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/タゼン/東海東京証券/東北三菱自動車/一般社団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/はとバス/東日本大震災事業者再生支援機構/ビルワーク/富士フィルムグラフィックシステムズ/ベルモードスズキ/ペロタクシー/北洲ハウジング/ホテル佐勘/三菱地所グループ/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/宮城第一信用金庫/宮城中央ヤクルト販売/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社〈順不同〉

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会

【お問い合わせ】今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318